

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月 8日 更新

事務事業名		合志市地域公共交通計画実施事業			<input checked="" type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input checked="" type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input checked="" type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系	政策	5	都市基盤の健全		所属部	市長公室	課長名	末永 大樹
	施策	22	公共交通の充実		所属課	企画課	担当者名	山口 直美
	業務分野	66	公共交通の利便性の向上		所属班	企画広報班	(内線)	1253
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律、道路運送法	
	一般	2	1	11	11465			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 21 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)				

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	実証実験の結果、平成24年度から、レターバス、循環バス(2路線)、乗り合いタクシー(3路線)および予約型乗り合いタクシーを本格運行とした。また、平成30年度の3月より東西線を実証実験で運行している。 平成27年度に地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき策定した「合志市地域公共交通網形成計画」に基づき①コンパクトシティの実現に向けたまちづくりとの連携②地域全体を見渡した面的な公共交通ネットワークの再構築に寄与する地域公共交通網を構築する。令和2年10月から路線再編を行い、レターバス(3路線)、乗合タクシー(5路線)での運行を行っている。令和6年度に利用分析を行い、コミュニティ交通の再編に向けた利便増進計画を策定した。令和6年度より合志市地域公共交通協議会運営事業(11463)JR光の森駅駐輪場維持管理支援事業(11467)、パーク&ライド事業(11468)熊本電鉄安全輸送設備等整備協会参画事業(11587)を統合する。
【業務の流れ】	合志市公共交通計画に基づき、コミュニティバス運行业務、レターバスや乗り合いタクシーの再編後の利用状況の分析及び利用促進策などの審議。利用促進策として各地区への出前講座等による説明。コミュニティバス運行進行管理(事業者による実績報告や協議会への経過報告など)や実績に基づく運行委託料支払事務。
【主な予算費目】	職員手当(時間外勤務)、需用費、役務費、委託料

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

コミュニティ交通(レターバス、乗り合いタクシー)運行委託契約、支払い事務を行った。また、市ホームページや広報紙での周知啓発の他、マイ時刻表の作成・配付などを各地域住民グループへ赴き、利用促進の啓発を行った。また昨年度策定した「合志市地域公共交通計画」の実施計画となる「合志市地域公共交通利便増進計画」の策定のため、協議会(4回)、作業部会(7回)を開催した。市民ニーズを把握するために中高生・保護者向けの意見交換会等3回を開催した。

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)

引き続き、コミュニティバスの運行、再編実施計画に基づく分析、バス停環境整備、乗降カウントシステム分析を行う。また、路線再編に向けた関係機関との協議(運行ダイヤ、ガイドマップ印刷関係)及び市民に向けた周知啓発活動を行う。国の補助金を活用しながら、実証実験を行い、車両購入を行う。

③予算の主な増減の理由

【拡充事業】再編および車両購入に係る備品購入費の増

成果指標	(単位)	データ取得方法
コミュニティ交通の利用者数	人	

(2)成果指標・総事業費の推移		単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
成果指標	人		77,756	86,639	88,200	88,375	89,700	91,200	92,800	0
事業費	国庫支出金	千円							15,000	
	都道府県支出金	千円	8,138	7,110	8,138	9,574	8,000	8,000	8,000	8,000
	地方債	千円								
	その他	千円	1,913	5,718	1,739	8,035	1,600	1,600	1,600	1,600
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	88,324	96,949	115,590	108,591	102,240	96,572	132,074	97,894
(A)事業費計	千円	98,375	109,777	125,467	126,200	111,840	106,172	156,674	107,494	

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

目標とする数値に達成したが、さらなる公共交通利用者の増加につなげるため、市民ニーズに合わせた路線網の構築及び更なる周知啓発活動が必要だと考えられる。今後も利用促進及び利便性向上への取り組みを実施していく。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)